

玖珠第1団

10周年記念とガールスカウト

玖珠のボーイスカウトは大正13年（1924）久留島武彦の第2回世界ジャンボリー（デンマーク）に始まる。

大正15年（1927）飯田高原（玖珠郡九重町）にて全日本ジャンボリー（久留島野營長）を開催し、東京、京都、上海、シンガポール等から多数のボーイスカウト隊が参加し、盛大に終了する。

以来毎年8月には飯田高原で少年団指導者実習所（幼年部・細野浩二 少年部・中野忠八が所長）が開設された。

昭和4年7月、イギリスのアローバークで開かれた第3回世界ジャンボリーに森小学校校長の古井六彦氏参加、古井六彦氏は昭和2年小学校に少年団を結成され、郡内に多数の隊を結成に貢献し、大分県連盟の役員、日本連盟の先達として功績を残すが戦争勃発と共に少年団は1時中断をする。

第1団結成と日本童話祭

戦後昭和24年、豊後森駅を中心としてボーイスカウト玖珠第1団を光林寺の帆足正韻さんが結成し、翌年5月5日第1回日本童話祭が開催され、童話祭式場の中山公園にて九州ボーイスカウト大会を開き童話祭を盛り上げる。以来平成12年度第51回日本童話祭まで、パレード、プラカード持ち、来賓案内、清掃と毎年奉仕活動を行っている。（今後も継続）

世界ジャンボリーと兄弟隊

昭和34年8月滋賀県あいは野で開かれた第2回日本ジャンボリーでは、玖珠第1団（隊長衛藤昭）として初参加、以来4年ごとの日本ジャンボリーに参加、昭和46年8月、日本で開催された第13回世界ジャンボリーではリーダー、ボーイ7名が参加し、デンマーク・オーデンセ市（アンデルセンの生誕地）と玖



久留島武彦

珠第1団は童話を結ぶボーイスカウトと兄弟隊として締結玖珠町長のメッセージをオーデンセ市長に伝達し、その後ボーイスカウト間での手紙等の交流をはかり、今日では日本童話祭にオーデンセ市長、デンマーク日本大使等が来町し交流を深めている。

玖珠第1団

10周年記念とガールスカウト

昭和36年4月玖珠第1結団（昭和26年登録）10周年記念事業の一環としてガールスカウト大分28団を結成、以来ボーイと共同で奉仕活動やキャンプを実施している。

待望のカブスカウトが平成8年4月結隊、親子キャンプや奉仕活動、童話祭では手作りの子供神輿でパレードに参加、歳末助け合い募金等活動している。

指導者の紹介

ベンチャー隊長	山本 恵一郎	玖珠町役場
ボーイ隊長	工藤 尚之	玖珠町役場
ボーイ副長	穴井 久徳	玖珠町役場
カブ隊長	青木 悦子	主婦
カブ副長	青木 成整	大分大学生
カブ副長補	宇野 誠二	会社員
団委員長	衛藤 昭	無
団委員長	工藤 忍生	学園長
団委員長	穴井 靖人	神官
団委員長	豊田 忠臣	ホテル支配人

継続は力

平成10年11月、大分県社会教育振興会より栄えある社会教育永年功労団体受賞。次代を担う青少年に明るい希望を持たせ立派な社会人の育成のため、幸い玖珠町は「子どもと夢を」をテーマに童話の里づくりを図っている。

恵まれた自然と環境を生かし団委員、指導者共に今後もスカウト運動の拡張・継続を図りたい。



日本童話祭参加(カブスカウト)



第11回日本ジャンボリー参加スカウト